

# サハリン事務所現地レポート（2017. 9）

報告者 主査 梶山 雅生

## 北斗文化学園とSCS（※サハリン・カレッジ・オブ・サービス）の料理交流

平成29年9月23日から30日の日程で、学校法人北斗文化学園（室蘭）の学生6名を含む計11名がサハリンを訪問し、SCSと料理交流事業を行った。両校は昨年11月に学術交流協定に関する覚書を締結、本年7月にはSCSの職員・学生計5名が室蘭を訪問し交流事業を実施している。

今回の事業では「ロシア料理」、「お菓子・パン」、「日本料理」の3コマの料理交流の他、現地の調理用品専門店等の視察も行った。参加した学生は「調理場の設備や道具が（日本と）違うので調理が難しかったが、とても良い経験になった。」と感想を述べていた。

今後もこのような交流事業を通して両校の親交が深まっていくことを期待したい。



合同調理の様子



日本料理の試食会風景



両校生徒の記念撮影

## 立命館慶祥高校のサハリン訪問

報告者 主査 阿部 大祐

平成29年9月27日から30日、立命館慶祥高校の教諭と生徒がサハリンを訪問した。本高校は、独自設置科目として「観光開発講座」を設け、海外から北海道への観光客のインバウンドを課題としており、今回、その調査・研修の一環として当地を訪問した。なお、北海道と立命館大学は包括連携協定を締結しており、この枠組みで、当事務所が訪問日程のアレンジを行った。生徒は、当地スキー場「山の空気」や旅行会社等を訪問し、用意してきた質問や、訪問中に気がついた点について質問を行った。

また、現地の学校を訪問した際に、浴衣や袴の着付けを共に行い、折り紙や日本に関するクイズを行って交流を深めていた。プログラムの後には、連絡先を交換しあっており、今後の若者同士のつながりに期待がもて、また微笑ましい場面でもあった。生徒は、これまでも海外旅行や研修を経験しているとのことだが、これからも現地を見て、そこに暮らす人々とのふれあいを直接感じてほしいと思う。



浴衣の着付け



日本語授業視察



折り紙体験